

活動報告

(抜粋してのご報告になりますが、ご了承ください。)

- ◆第36回中国・四国地区社会教育研究大会広島大会が、11月21日(木)から22日(金)の2日間に亘って、尾道市において開催されました。2日目の午前中には、しまなみ交流館を会場として、『持続可能な社会の構築に向けたこれからの社会教育の在り方』をテーマに、パネルディスカッションが開催され、中国・四国地区から、500名近くの参加者がある中、パネリストとして、“おのみち100km徒歩の旅”の取り組みを紹介させていただきました。
- “自立”を切り口とした好循環の仕掛けづくりが持続可能な社会へ向けて重要になることを提案させていただきました。

- ◆10月 7日(月) 尾道市議会第4回臨時会
- ◆10月 9日(水) 第75回全国都市問題会議(大分市) ~11日(金) 『都市の健康~人・まち・社会の健康づくり~』
- ◆10月15日(火) 尾道市議会決算特別委員会 ~17日(木)
- ◆11月 3日(日) 尾道むかいしまウォーク
- ◆11月 7日(木) 誠友会・行政視察 ~ 8日(金) 《長浜市(公民館活性化)、宇治市(観光振興計画)》
- ◆11月16日(土) 高見山の森づくり体験の集い
- ◆11月24日(日) 尾道市教育フォーラム
- ◆11月28日(木) 尾三地域振興議員連盟研修会
- ◆11月30日(土) 尾道市青少年健全育成大会
- ◆12月 3日(火) 尾道市議会第4回定例会 ~17日(火)

決算特別委員会 副委員長を務めました！

9月10日(火)に開催されました決算特別委員会において、副委員長を拝命し、10月15日(火)から3日間、副委員長を務めさせていただきました。

【柿本和彦後援会】

〒722-0062 尾道市向東町3301-1
Tel・Fax兼用(0848)41-9315 Fax(0848)44-6829
メールアドレス: info@k-kakimoto.com
ホームページURL: <http://k-kakimoto.com/>
ブログURL: <http://blog.k-kakimoto.com/>
ご意見等がございましたら、お気軽にお寄せください！



愛と志で誇りある未来を創造しよう！

かきもとかずひこ

柿本和彦後援会 会報 VOL.09

編集：柿本和彦後援会

平成26年 1月 1日発行

新年明けまして
おめでとうございます

輝かしい一年の幕開けです！

『終身の計は、人を樹うるに如くはなし』
混沌とした社会を切り拓くために、
心豊かな生活を送るために、
そして、次世代に“誇りある尾道”を受け渡すために、
“志を高く” “勇気を持って” “すべてのモノに感謝し”
夢を語り、まちの未来を描き、感動を共有し、
ひとづくり、まちづくりに精一杯精進して参りたいと思います。
皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

未来への投資！百聞は一見に如かず！！

児童がiPad(タブレット)を使って、
生き生きと学習する様子を参観させていただきました。



児童は自分のペースで授業を展開でき、
分からなければ(タブレットの画面が止まっていれば)、
教員が同時進行で教員用のタブレットで確認して個別に声を掛けてくれるので、
安心して授業を受けているように感じました。

マル付けの時間がなくなったり、児童のつまづきを早期に発見できたり、
一人ひとりの子どもたちと適切に向き合える
素晴らしいシステムだと感じました。

当初、危惧していたことは、

児童並びに教員がタブレットに振り回される(機械に使われる)ことでしたが、
効果的な教科あるいは単元だけでタブレットを使い、
通常のタブレットを使わない授業とバランスを取ることで、
大変有意義な授業が展開できることが分かりました。【2面関連】

柿本和彦の活動報告

《2013（平成25）年10月～12月》



視察報告

◆ 議会改革特別委員会で、10月2日（水）～3日（木）、東京財団と所沢市議会、飯能市議会を視察しました。

議会基本条例の制定の必要性や制定後の運用に関しての研修を行い、

『会議規則の限界を補完するものが議会基本条例である。』

『制定されても市民に支持されないと意味が無い。』

といったお話を伺いながら、

議会がいかに自立していくかが問われている物差しが、議会基本条例の制定、そして、その後の運用であるように思いました。

また、二元代表制として理事者側と切磋琢磨する関係が、市民目線に立った市民のための議会運営、行政運営になるように思いました。

◆ 文教委員会で、11月19日（火）～20日（水）、武雄市立武内小学校と武雄市図書館、佐賀市勸興公民館を視察しました。

武内小学校では、ICT教育についての研修でしたが、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。（1面参照）

武雄図書館では、指定管理者導入について研修し、『多くの指定管理は、行政が行っていたサービスと同じものを提供するかたちになっているが、“タケオモデル”は、それに加えて、目的外使用を指定管理者が行っている。』など、貴重な行政サービスを観させていただきました。

365日フルオープン、21時まで開館というサービスは、行政による直営では不可能だと思いました。

勸興公民館では、“まちの駅”の登録を受けて公民館の事業を展開され、

若者が公民館に集うという大変貴重なお話を聞くことができました。

歓喜まちの駅の運営は、実行委員会を持たず、

それぞれの団体が参画して運営しているからこそ、

毎月のイベントとして成り立っているように思いました。

これからの公民館の在り方を議論する上で、大変参考になりました。

12月定例会一般質問要旨

『柿本和彦の重点目標』を中心に18点、質問をいたしました。

1. 未来へつなぐまちづくり～組織強化（職員研修プログラム）について～
 - (1) 基本研修や特別研修などの報告書や振り返りが、個人のモチベーションアップにつながるように、OJT研修とOffJIT研修を一体化させた仕掛けを作ってはどうか
 - (2) 組織の一員としての意識が高まり、組織が目指すゴールを常に共有できるようにチームビルディングを目的とした研修をこれまで以上に取り入れてはどうか
2. 未来へつなぐまちづくり～職員採用制度の見直しについて～
 - (1) 試験制度を見直すに至った経緯、また、背景をどのように捉えているか
 - (2) 今回の見直しによる組織全体への効果として、どういったことを期待しているか
3. 未来へつなぐまちづくり～学校教育の充実（土曜授業）について～
 - (1) 尾道市として、土曜授業の実施について、どのように考えているか、また、子どもたちの土曜日の過ごし方の現状をどのように把握しているか
 - (2) 土曜授業を実施するに当たり、どのようなプログラムが望ましいと考えているか、また、そうしたプログラムを実施するに当たり、課題となる点をどのように考えているか
4. 未来へつなぐまちづくり～学校教育の充実（ICT教育）について～
 - (1) 現在、市内の小中学校における電子黒板など、ICT環境はどのような整備状況にあるか、また、今後の計画をどのように考えているか
 - (2) ICT教育を進めていく上で、ハード面、ソフト面からの課題をどのように考えているか
 - (3) ICTの活用指導力の向上を図るため、どのような研修を実施しているか、また、現状のICT活用指導力をどのように判断しているか
5. 人をつなぐまちづくり～公民館活性化によるまちづくりについて～
 - (1) 公民館の多くが、「貸し館」化し、講座を行うだけになっていると言われていたが、さまざまな異年齢の方々の交流の場となり、公民館のイメージアップにつながるように、市民が参画する「お祭り」を公民館が中心となって行ってはどうか
 - (2) 家庭の教育力の向上や地域の教育力の回復のために、生涯学習ではなく、生涯教育を公民館が主体となって行っていくことをどのように考えるか
 - (3) 地域住民や来訪者が自由に休憩場所として利用できるなど、公民館を交流機能などを持った『まちの駅』として登録することを検討してはどうか
6. 人をつなぐまちづくり～グローバル人材の育成（リーダーシップ教育）について～
 - (1) さくらプラン3ではグローバル人材の育成をどのように考えているか
 - (2) さくらプラン3ではリーダーシップの開発についてどのように考えているか
7. 地域をつなぐまちづくり～通学路整備のその後の状況について～
 - (1) 昨年度の合同点検で整備が必要と判断された通学路の内、昨年度末で未整備となった箇所は何箇所あったか、また、その未整備箇所は現在、どのような整備状況になっているか
8. 地域をつなぐまちづくり～防災マップの活用について～
 - (1) 津波高を津波そのものの高さや勘違いするなどの誤解を払拭するため、何か方策を考えているか
 - (2) 全戸に配布された防災マップに関して、今後、市民の方々に活用していただくための説明会や訓練などの計画はあるか
 - (3) 地理的要因により大きく変わってくる防災マップに記載された情報に関して、そうした変動の可能性がある情報や知識の提供、また、そのための機会を創る計画はあるか